

Q & A



小林昌司町長

の議員が町政の課題について質問しました。
します。

低空飛行 中止に向け、要請強化と対策を 平井知事と共に、 国への要請上京も



中尾理明議員

Q 正月2日、3日、5日米軍機が夜間飛行、団欒のひと時をぶち壊しました。1月24日は午後2時頃、宿本通り真上を機体の腹がはつきり見える程超低空で戸倉方面へ飛び去りました。このときの高度と1月〜3月までの飛行回数を伺います。

A 1月24日14時頃の米軍機の高度は、300m位と推定しています。高度は轟音と千石岩の標高を目安にしています。(先立つ13時43分も300m)。1月〜3月までの飛行は、1月に9回で10機を確認しています。2月、3月は確認していません。私は平穏を迎えるべき正月に飛ぶなど理解できない、県や国は

小林昌司町長

Q 町長は県町村会副会長として、会合で問題提起し、国への中止要請を行うと言われてきました。町村会の動き、国への働きかけはどうですか。

小林町長

A 一昨年は、オスプレイ問題に関連し平井知事に要請しました。中国地方知事会では5県連名による政府要望をされています。また私は町村会副会長として、昨年暮れの知事への新年度要望の際、重点項目として、強く要望をさせて頂きました。先日県から、今後県が防衛省を訪問する際

に若桜町や日南町も一緒に防衛省に向くようお願いしたいと話があり、私はいつでも知事や日南町長と上京すると伝えていきます。

Q 2月26日、わが党の塩川衆議院議員が低空飛行問題で質問に立ちました。それによると鳥取県の訓練による苦情がどのように米軍当局に伝えられているか問うたのに対し、防衛省の山本地方協力局長は、低空飛行の情報を米国に対する「苦情」と防衛局に対する「情報提供」に分けた上で苦情だけをアメリカ側に通知し、米軍機による飛行と回答を得られたものだけを「苦情」として集計している」と説明したということですが、この事への町長の所見を伺います。

小林町長

A 塩川議員が鳥取県の低空飛行問題で質問されたことにお礼申し上げます。防衛省の山本次長の説明は私共が中国防衛局に報告している目撃情報が苦情でなく情報として処理され、全てが米軍に伝

わっていないことを知り、誠に遺憾に思っています。情報は元々迷惑との住民の声であり、全て苦情です。情報が苦情としてカウントされないなら、今後は苦情として報告したいとも考えています。県議会でも市谷議員が質問された、騒音の測定器、1器あたりが70万円位のことですが、知事の方から測定器設置について日南と若桜と共同して、国に要請したらどうかと言われ、同意しますと回答しています。

介護保険	
要支援外しは大問題	要支援の方の手立て講ずる

Q 政府厚労省は今国会に「改革」法案を提出し、要支援1、2の方を介護保険から外し、自治体の事業へ移行し、当該利用者の切り捨てと自治体への事業丸投げ、事業費の削減を図る等福祉切り捨の推進を図ろうとしています。所見を伺います。

緑と清流のまち

わかさ

議会だより

第148号
平成26年
5月号
WAKASA TOWN